

## 「宇宙における分子進化：星間雲から原始惑星系へ」平成25年度研究集会

- ・会期：2013年11月27日 (水)– 28日 (木)
- ・場所：北海道大学 低温科学研究所 3階 講堂
- ・主催：科研費新学術領域研究「宇宙における分子進化：星間雲から原始惑星系へ」
- ・共催：北海道大学 低温科学研究所

### 11月27日 (水)

13:00–13:15	香内 晃 (北海道大)	領域概要説明
13:15–13:20	香内 晃 (北海道大)	研究項目A01「分子雲における氷・有機物形成」
13:20–13:45	日高 宏 (北海道大)	星間塵表面反応による分子進化
13:45–14:10	羽馬 哲也 (北海道大)	分子雲有機物の生成・分析にむけた光化学反応実験装置の開発
14:10–14:35	岡田 邦宏 (上智大)	星間分子雲における分子イオン-極性分子反応の実験室測定
14:35–15:00	荒木 光典 (東京理科大)	可視高分解能分光装置の開発と放電による星間分子の生成
15:00–15:25	藪下 彰啓 (京都大)	氷の光分解によって生成する水素原子の並進エネルギー分布
		休憩
15:50–16:15	深澤 裕 (JAEA)	大強度中性子ビームを用いた宇宙氷の構造と物性に関する研究
16:15–16:20	山本 智 (東京大)	研究項目A04「原始惑星系の化学的多様性とその進化」
16:20–16:45	坂井 南美 (東京大)	原始星円盤形成に伴う化学変化
16:45–17:10	廣田 朋也 (国立天文台)	ALMAによる大質量星形成領域オリオンKLの観測成果の紹介
17:10–17:35	左近 樹 (東京大)	未同定赤外バンドのキャリアの同定とそれらの化学進化の理解に関わる実験・観測的研究
17:35–17:40	塚本 尚義 (北海道大)	研究項目A05「宇宙有機物の構造と同位体」
17:40–18:05	高野 淑識 (JAMSTEC)	有機分子レベルで拓く物質進化の科学
18:05–18:20	橘 省吾 (北海道大)	小惑星サンプルリターン計画「はやぶさ2」
		懇親会

### 11月28日 (木)

9:00–9:25	浜瀬 健司 (九州大)	宇宙アミノ酸光学異性体の精密分析を可能とする二次元キラルHPLC法の開発
9:25–9:50	二宮 啓 (山梨大)	帯電液滴衝撃法による二次イオン質量分析および真空型帯電液滴ビーム源の開発
9:50–10:15	三田 肇 (福岡工大)	物質進化を探るための有機物高精度質量分析に向けて
10:15–10:20	永原 裕子 (東京大)	研究項目A02「原始惑星系における有機物生成とその進化」
10:20–10:45	土山 明 (京都大)	有機物生成実験における非晶質珪酸塩基盤作成の試み
10:45–11:10	為則 雄祐 (JASRI)	不均質な有機物形成反応のその場観察を指向した結像型軟X線顕微分光装置の開発

11:10-11:35	高橋 修 (広島大)	軟X線分光に関する理論計算
11:35-12:00	S. Danielache (上智大)	高精度理論計算による星間雲分子の紫外線スペクトル・解離反応及び同位体効果
12:00-12:10	ポスター内容紹介	
	昼食・ポスター	
14:00-14:05	深澤 倫子 (明治大)	研究項目A03「宇宙における分子生成と物質進化」
14:05-14:30	野村 英子 (東京工大)	原始惑星系円盤における複雑な有機分子生成モデル
14:30-14:55	相川 祐理 (神戸大)	ダスト表面反応モデルの現状と問題点
14:55-15:20	下西 隆 (神戸大)	低金属量銀河における有機分子生成についての考察 -マゼラン雲におけるメタノール氷観測を例に-
15:20-15:45	古家 健次 (神戸大)	乱流が原始惑星系円盤の化学構造に与える影響
15:45-16:15	まとめ	

#### ポスター講演

木村 勇氣 (東北大)	低温低圧環境下における微粒子表面での触媒化学反応による有機分子生成実験の構想
松野 淳也 (京都大)	熱プラズマ法による非晶質珪酸塩微粒子の合成
森 珠実 (東京大)	星間空間における重水素を含む炭素質ダスト探索に向けた実験的研究
山下 陽平 (九州大)	マーチソン隕石の抽出極性有機化合物の予備的な高質量分解能分析